

# Canon 110ED 20



日本語版

使用説明書

## Canon110ED 20

キヤノン110ED20をお買い上げくださいますとありがとうございます。

このカメラは110カメラの高級機としてご好評をいただいているキヤノン110EDをさらに充実させたポケットカメラです。

ご使用の前にぜひ使用説明書をお読みいただき、その性能を十分ご活用くださるようお願いいたします。

## 性能

レンズ：キヤノンレンズ26mm F2 4群5枚構成

焦点調節：レンズ直進による距離計連動式

EE連動範囲：EV1(F2 2秒)～EV18(F16 1/1000秒)

距離目盛り：0.6 1 3 10 (m)

2 3 10 30 ∞ (ft)

(他にゾーンフォーカスマーク付き)

シャッター：電気シャッターで2～1/1000秒

メカシャッターで約1/125秒(但し電池室蓋をはずした場合に作動)

フラッシュオート機構：キヤノライトED使用により自動

ファインダー情報：距離計像、近距離補正マーク付き

視野枠、露出オーバー警告(右側赤色ランプ)手ぶれ警告とバッテリーチェッカーおよび電気シャッ

ター作動完了信号（左側黄色ランプ）長時間露出中表示ランプも兼用，デート表示（デートスイッチオンで巻上げ完了時にシャッターボタンの第1ストロークで点灯）

フィルム巻上げ：スライド式ノブによる1作動巻上げ

フィルム装填：カートリッジ式

背蓋開放：ボディ背面のスライド式ノブによる

保護カバー：ボディ前面の保護用スライド式カバー，シャッターボタンの安全ロック機構付き

アクセサリシュー：フラッシュ直結接点付き

絞り目盛り： F 2      F 4      F 8      F 16



各点をクリックストップあり

電源：6V酸化銀電池1個使用

デート(日付)機構：年月日の写込み機構，デートセッ  
トは左側のONスイッチとダイヤ  
ルセットによる

デート(日付)表示：0・1～9，77～87 ■(白ヌキ)

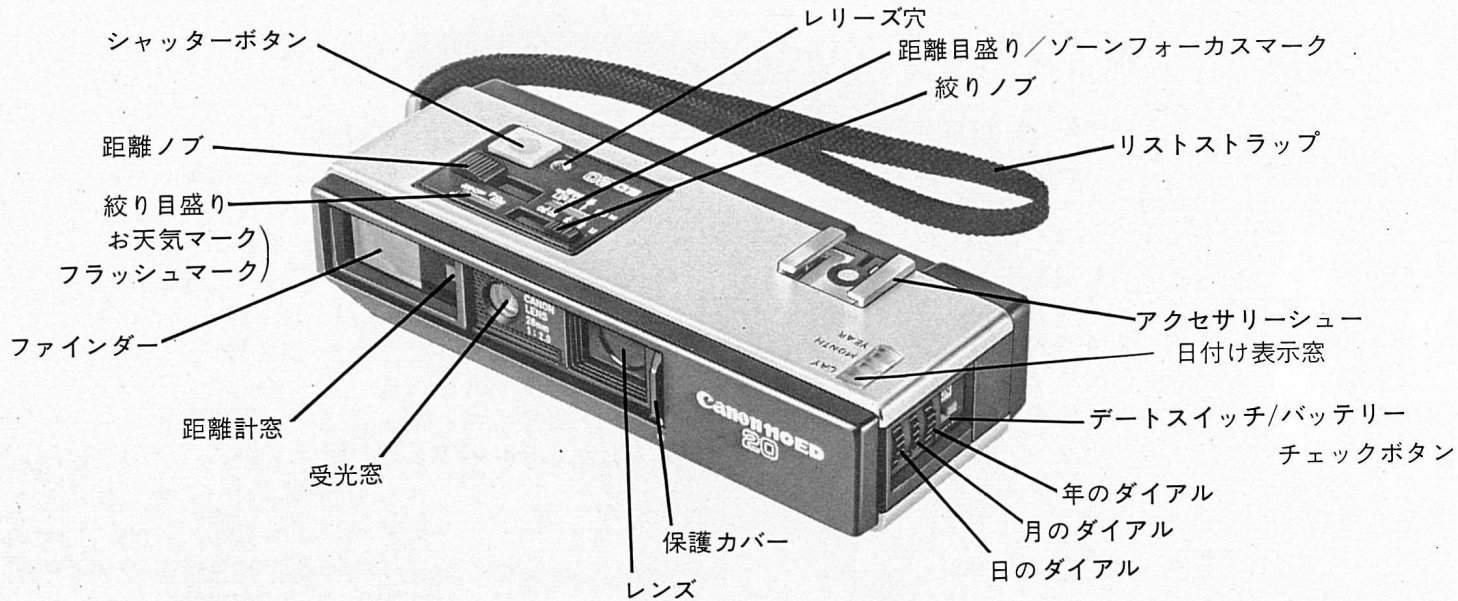
月：0・1～12 ■

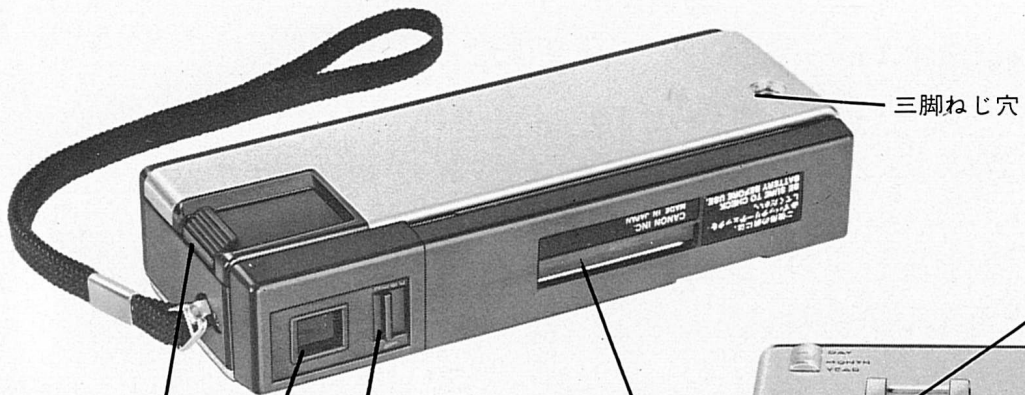
日：0・1～31 ■

フィルム感度：ASA80 ASA400

大きさ・重量：142×55.5×28.8mm・340g

関連アクセサリ：キャノライトED，ソフトケース，  
スピードライトエクステンダー，  
レリーズ30，レリーズ50，セルフ  
タイマー8，クローズアップレン  
ズ110



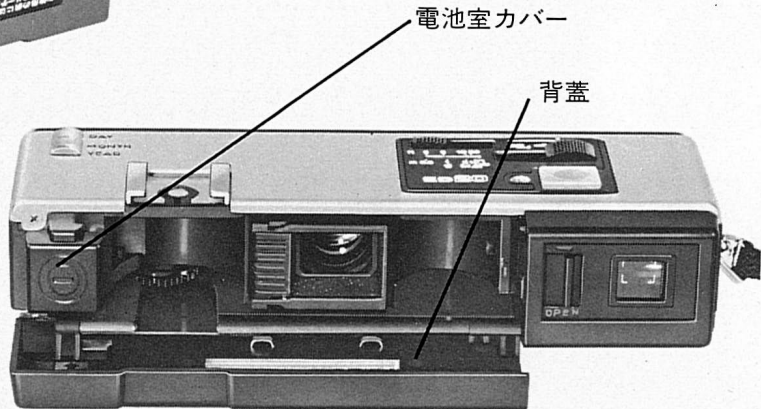


巻上げノブ

背蓋開閉ノブ

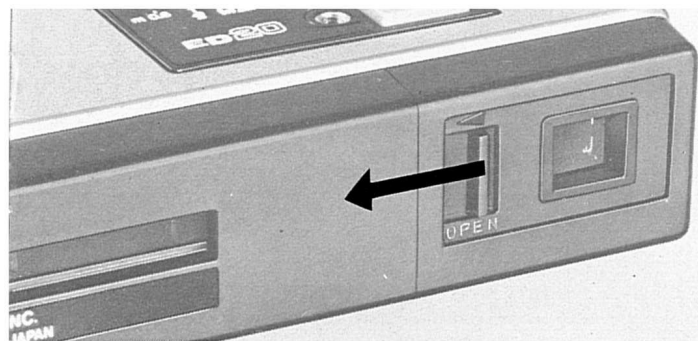
ファインダー接眼部

フィルムタイプ表示窓  
フィルム枚数計



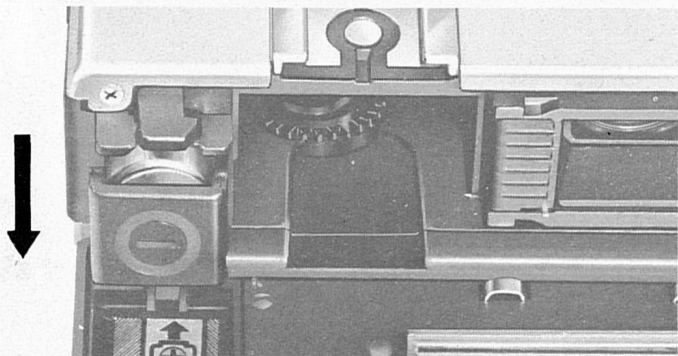
## 目次

- |                    |    |                |    |
|--------------------|----|----------------|----|
| 1. 電池の入れ方          | 7  | 11. フィルムの取出し方  | 19 |
| 2. バッテリーチェック       | 8  | 12. フラッシュオート撮影 | 20 |
| 3. フィルムのつめ方        | 9  | 13. カメラの構え方    | 22 |
| 4. 保護カバーの扱い        | 10 | 14. カメラ取扱いの注意  | 23 |
| 5. 撮影準備のフィルム空送り    | 11 |                |    |
| 6. 日付けのセット         | 12 |                |    |
| 7. 絞り(お天気マーク)の合わせ方 | 14 |                |    |
| 8. 距離目盛りの合わせ方      | 15 |                |    |
| 9. 構図のきめ方          | 16 |                |    |
| 10. シャッターボタンを押します  | 18 |                |    |



## 1. 電池の入れ方

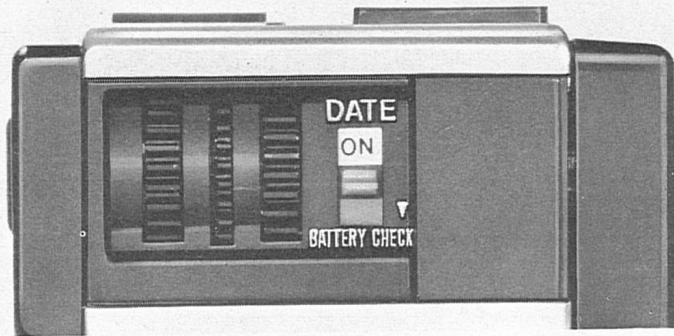
1. 背蓋開閉ノブを矢印方向に押すと背蓋が開きます。
  2. 電池室カバーを手前に引きます。
  3. 背蓋内側の表示にしたがって、 $\oplus$  $\ominus$ の向きをまちがえないように電池を入れます。
  4. 電池室カバーを元の位置にさし込みます。
- $-10^{\circ}\text{C}$ 以下の低温地では電池性能が低下しますので、低温地で使用する際はあらかじめ電池を保温して使用してください。



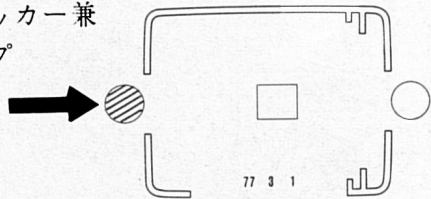
## 2. バッテリーチェック

カメラ側面のデートスイッチ兼バッテリーチェックボタンを押し下げ、デートスイッチをONにします。さらにボタンを押し下げながらファインダーをのぞきます。左側の黄色いランプが点灯したら電圧が十分です。点灯しない場合は電圧不十分ですから銀電池を交換してください。

- 電池がなくなるとシャッターが開かず、巻上レバーがロックされますので、ご使用前には必ずバッテリーチェックをしてください。
- 電池がなくなった場合、電池室蓋をはずすと、1/125秒のメカシャッターに切り替わります。デート撮影はできませんが、戸外での普通条件下の手動撮影は可能です。絞りは絞りノブで操作してください。



バッテリーチェッカー兼  
手ぶれ警告ランプ  
(点灯する)

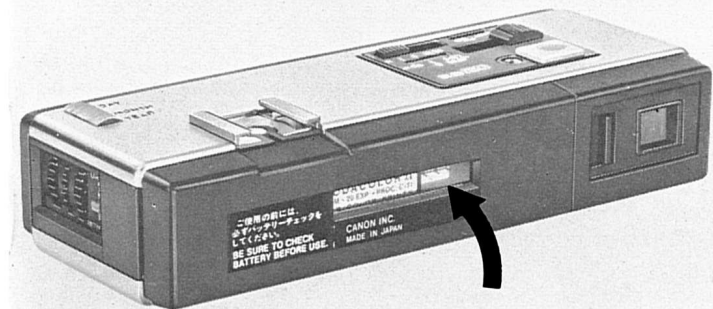






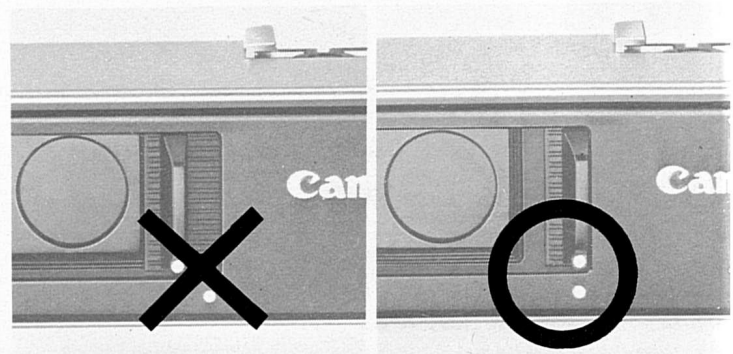
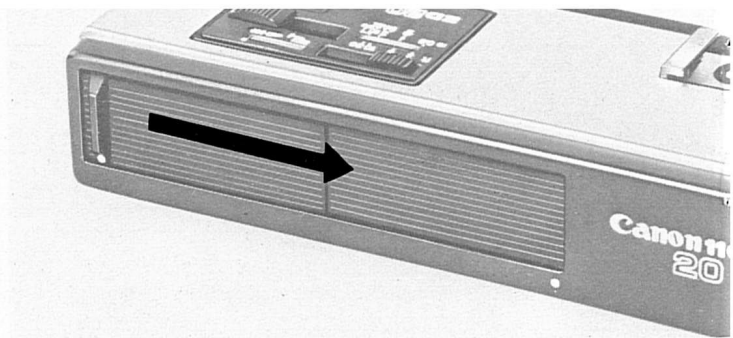
### 3. フィルムのつめ方

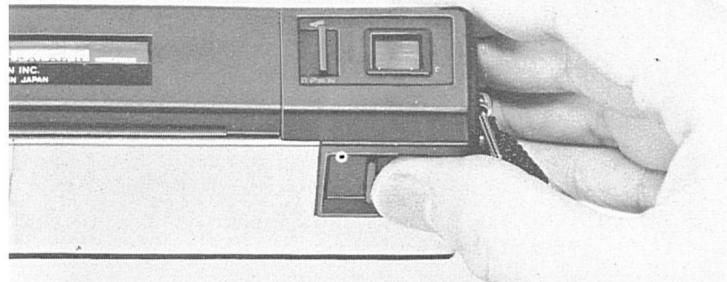
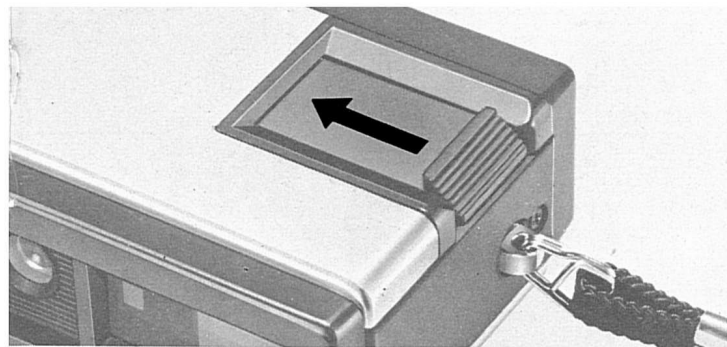
1. 背蓋を開きフィルムカートリッジを写真のように入れます。
  2. 背蓋を押しつけて閉じます。
- ASA感度の切り換えは、フィルムカートリッジの入れ換えによって自動的に切り換わります。



## 4. 保護カバーの扱い

1. 保護カバーを開き、ボディの白点と保護カバーの白点を合わせます。
- 保護カバーが完全に開かれていないとシャッターが切れません。





## 5. 撮影準備のフィルム空送り

1. 巻上げノブを矢印方向にスライドさせ、フィルム枚数計に1が出るまで繰返し巻上げます。

● 巻上げノブが動かない場合には、シャッターボタンを1回押してから巻上げ操作を行なってください。

## 6. 日付けのセット

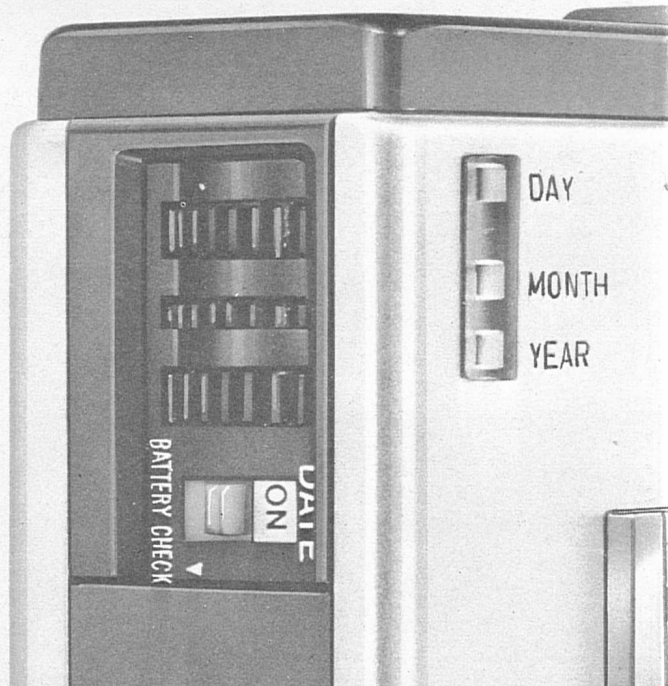
1. 日付け表示窓を見ながらボディ左側面のダイヤルを回して日付けをセットします。デート（日付け）機構にはそれぞれつぎの数字が組込まれています。

YEAR（年）0・1～9，77～87 ■（白ヌキ）

MONTH（月）0・1～12 ■

DAY（日）0・1～31 ■

2. デートスイッチを押下げてONにします。
3. ファインダーをのぞいてシャッターボタンを軽く押すと、ファインダー下部中央に写込みの日付けが表示されます。（巻上げ後でないとファインダー内に日付け





77 4 10  
YEAR (年)  
MONTH (月)  
DAY (日)

表示が出ません)

- 日付けは画面右下に横位置で年月日の順に写込まれます。
- 印は何も写りませんので、日付けを写込みたくないときには■印に合わせるか、デートスイッチを切ってください。
- 日付けはシャッターが切れたあとに写込まれますから、ブレを防ぐためにシャッターボタンから0.5秒以上指を離さないでください。
- 次の巻上げはシャッターボタンが完全にもどりきってから行なってください。早く巻上げると日付けが流れます。日付けの上下が不揃いの場合には、セットダイヤルで微調整して並ぶようにしてください。

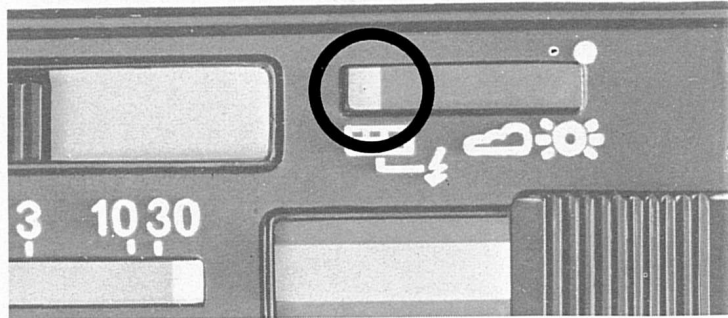
## 7. 絞り(お天気マーク)の合わせ方

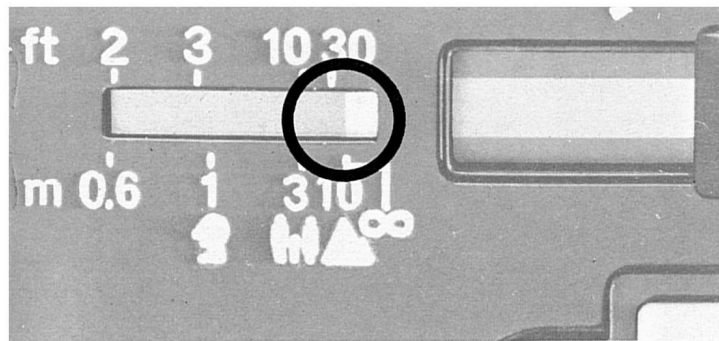
1. 絞りノブを動かしてその時の条件に適したお天気マークに合わせます。

室内(F 2), 曇天(F 4), 晴天(F 8), (F / 16)



- 複写などの近接撮影をする場合は、絞りを☁マーク又は☁☀マークに絞ってください。暗い場合には照明を与えてください。



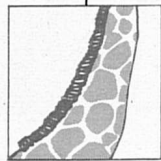


## 8. 距離目盛りの合わせ方

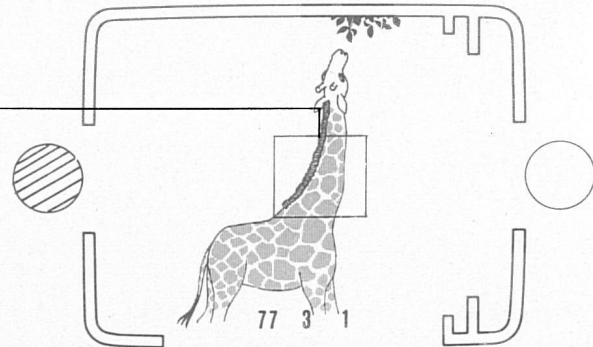
1. ファインダーをのぞいて距離ノブを動かし、被写体の二重像を合致させてピントを合わせます。



ピントがはずれている



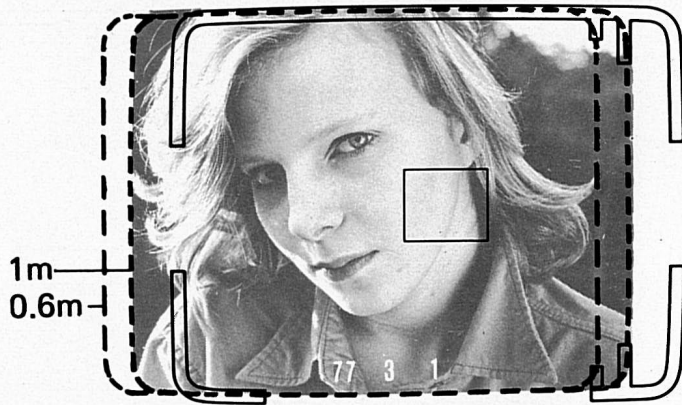
ピントが合っている



## 9. 構図のきめ方

1. ファインダーをのぞいて構図を決めます。

- 画面サイズは外側の太枠ですが1 m以内の撮影では、画面の全体が近距離補正マークから左に移動しますので注意してください。



近距離撮影範囲(1mの場合)



ピント合わせ範囲

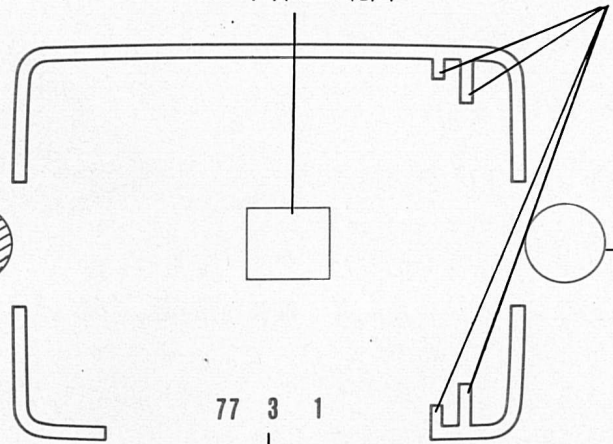
近距離補正マーク

手ぶれ警告ランプ

露出オーバー警告ランプ

77 3 1

日付け表示

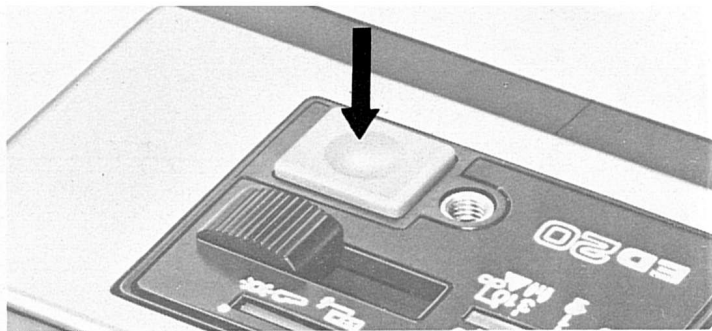


## 10. シャッターボタンを押します

1. ファインダーをのぞいてシャッターボタンを静かに押します。

●手ぶれを防ぐためにカメラはしっかりとかまえてください。

●シャッターボタンを押してファインダー内右側に赤ランプがついたときは明るすぎるという露出オーバーの警告です。絞りを晴天マーク側にセットし直してください。ファインダー内左側に黄色ランプがついたときは、絞りを室内マーク側にセットし直してください。それでも黄色ランプが点灯したままのときは、明るさが足りないので長時間露出になるという手ぶれ警告です。三脚を利用するか、フラッシュオート撮影に切換

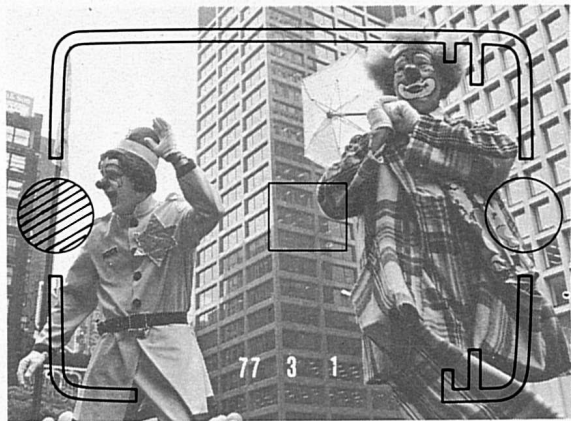


えてください。

●長時間撮影の場合には、手ぶれ警告ランプが消えるまでシャッターボタンから手をはなさないでください。長時間撮影は2秒までなら正しい露出が得られます。


## 11. フィルムの取出し方

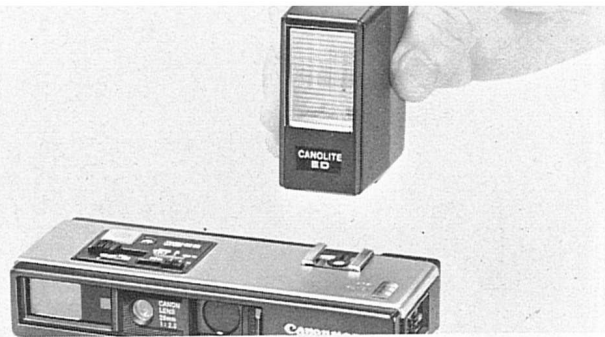
1. 所定のフィルム枚数の撮影が終わったら、巻上げノブが動かなくなるまで繰り返し巻上げ、撮影フィルムが感光しないように完全に巻込みます。
2. カメラの背蓋をあけてカートリッジを取出します。



## 12. フラッシュオート撮影

専用スピードライトキャノライトEDを使用すれば、EE撮影同様の簡単さでフラッシュオート撮影ができます。

1. キャノライトEDをアクセサリシューに取付けます。
2. 絞り目盛りを室内マーク(  )に合わせます。
3. キャノライトEDのスイッチをONにし、ネオンランプの点灯を待ちます。
4. 距離ノブを動かしてピントを合わせます。
5. ファインダをのぞいてシャッターボタンを押します。






- キヤノライトEDを使用するときは0.8m～5mの範囲内で撮影してください。
- フラッシュ撮影をしない場合には、必ずキヤノライトEDなどの発光器やエクステンダーをはずして使用してください。取付けたままでは露出が狂います。
- キヤノライトED以外のスピードライトでも、直結接点付きのガイドナンバー14のものでしたら同様に使用できます。
- 一般にポケットカメラでフラッシュオート撮影をする時、条件によっては（特に暗い場所など）目が赤く写ることがありますので、カメラとスピードライトの間にエクステンダーのご使用をおすすめします。

### 13. カメラの構え方

1. 両手でしっかりとカメラを持ちます。
2. 横位置のときは両ひじを，縦位置のときは少なくとも一方のひじをピッタリと体につけます。
3. シャッターボタンを押すとき力を入れすぎますとカメラが動き，カメラブレの原因になります。親指と人さし指ではさむようにして静かに押してください。



## 14. カメラ取扱いの注意

1. ご使用前には必ずバッテリーチェックをしてください。電池がなくなるとシャッターが開かず、巻上げがロックされます。バッテリーがなくなった場合のメカシャッターの使用法は、本文P.8をご参照ください。
2. 保護カバーを閉じるとシャッターボタンが押せない安全機構になっていますので、カメラをケースに入れるときは保護カバーを閉じてください。不完全な状態でシャッターボタンが押されると電池消耗を早めます。
3. キヤノライトEDを使用するときは、絞りノブを室内マーク() にセットしてください。室内マーク以外にセットすると露出が不適正となります。
4. フラッシュ撮影をしない場合には必ず発光器やエクステンダーをはずして使用してください。はずさないで露出が不適正となります。
5. バッテリーは⊕⊖の向きをまちがえないように入れてください。まちがえると巻上げノブがロックされます。

6.  $-10^{\circ}\text{C}$ 以下の低温地ではあらかじめカメラを保温しておいて使用してください。

7. ガイドナンバー14の直格式ストロボはフラッシュオート撮影が可能です。

8. 調光ストロボ（ガイドナンバー14）の場合はストロボをマニュアルにセットして使用してください。

9. カメラを使用しないときには電池を拔出しておいてください。長い間入れたままではまっておきますと、電池漏液などでカメラ側の電池接点をいためるおそ

れがあります。

10. カメラの手入れ方法は、砂やほこりはブローで吹き飛ばすか、やわらかい布でそっと拭いてください。そして常温で湿気の少ないところを選んで保管してください。

11. カメラを高温な場所に長時間置きますと故障の原因になることがありますので絶対にさけてください。直射日光の当たる乗用車のトランクやリヤウインドなどは大変高温になることがありますので注意してください。



12. カメラにショックを与えると故障の原因となります。  
携帯時等の落下はもとより、乗物の振動などから極力保護してください。

## アフターサービスについて

保証期間経過後の修理はすべて有料となります。尚、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

本製品の補修用性能部品は7年間を目安に保有しております。したがって保有期間中は原則として修理をお受け致します。尚、期間後であっても修理可能の場合もありますので、お買い上げ店か裏表紙の当社サービス機関にお問い合わせ下さい。

# キヤノン株式会社

## キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田3-11-28

カメラ販売企画部 (03) 455-9353

### サービスステーション

札幌	札幌・(060) 札幌市中央区北三条西4-1 (第一生命ビル4階) (011) 231-1313
仙台	台・(980) 仙台市一番町1-1-30 (やまと生命仙台ビル6階) (0222) 66-4151~7
青森	森・(030) 青森市堤町1-6-3 (山一ビル) (0177) 75-1666
新潟	潟・(950) 新潟市東大通1-4-1 (マルタケビル7階) (0252) 43-2111
東京	京・(104) 東京都中央区銀座5-9-9 (03) 573-7834
	(160) 東京都新宿区西新宿1-24-1 (第一生命ビル2階) (03) 348-4721
	(192) 八王子市八幡町11-2 (八王子繊維貿易館) (0426) 25-7511
横浜	浜・(231) 横浜市中区南仲通り4-39 (石橋ビル1階) (045) 211-1691
千葉	葉・(280) 千葉市千葉港4-3 (千葉県私学会館4階) (0472) 43-9648
大宮	宮・(330) 大宮市桜木町4-218 (共栄ビル2階) (0486) 41-9122
静岡	岡・(420) 静岡市鷹匠2-7-2 (静米会館1階) (0542) 55-2241
名古屋	屋・(450) 名古屋市中村区米屋町2-50 (052) 565-0911
大阪	阪・(530) 大阪市北区梅田2 (第一生命ビル) (06) 341-9335
京都	都・(604) 京都市中京区御池通間之町東入ル (東邦生命ビル5階) (075) 241-0216
金沢	沢・(920) 金沢市尾張町1-11-14 (住友生命ビル2階) (0762) 32-1711
高松	松・(760) 高松市番町2-17-15 (第二讃機ビル1階) (0878) 22-2044
岡山	山・(700) 岡山市中山下1-9-40 (新岡山ビル5階) (0862) 22-8228
広島	島・(730) 広島市小町2-1-30 (第二有楽ビル4階) (0822) 44-4615
福岡	岡・(812) 福岡市博多区博多駅前4-20-23 (セントラルビル1階) (092) 411-4172
鹿児島	島・(890) 鹿児島県鹿児島市上之園町14-8 (0992) 57-5311~2